

滋賀連盟中期目標達成に向けて!!

～未来の青少年につなぐために～

まず、2020年度加盟員 1,000 人を維持しよう! (10月14日理事会承認)

現在(2020年10月8日現在) 943人 (今年度の新規加盟70人含む)

あと、**57人**

【まずは基本を!!】

スカウトの退団原因を反省し、スカウト数拡大の基礎を創ろう!!

スカウトから見て、プログラムが楽しくないと「ロコミ」なんて手法は無理だ

「参加してもらおう」から「活動してもらおう」へ

プログラムが面白くないのでは

※ 大人が作ったプログラムは面白いのか

- スカウトのやりたい事、興味ある事を把握できているか
- スカウトの意思を反映できているか
- 冒険心(ドキドキワクワク)が満足されたか

※ 大人の支援は十分か

- 成人の支援はどのようなモノか理解できているか
- 下見、安全確認、スカウト個々の能力把握、保護者対応、時間管理、健康管理、安全管理、などなど遊んでいる暇はない
- 指導者の役割分担が明確になっているか
- 各隊への財務支援は出来ていますか
- スカウトの保護者への金銭的負担を少なくする努力(寄付金/助成金活用)をしていますか
- 寄付者への感謝と活動報告は適切にされていますか

※ 小グループ活動がしっかりできているか

- 組長や班長に、“どや顔”させられていか—指導者が自慢しても何もならない
- 指導者が班長になっていないか、スカウトが自信を持つようなバックアップをするのが指導者—班長訓練はそのため
- 組長(班長)の任務を、組長(班長)へ伝えられているか—決して連絡係ではない
- 少人数隊では、地区内で競争できる環境作りが必要である

※ プログラムがマンネリ化している (一番危惧している箇所です)

- 毎年、同じ内容では面白くない。(団事業、行政事業だから、ただの言い訳)
- レクリエーション活動に偏っていないか。
- 想定文をつくり、プログラムを物語に出来ているか。ゲーム化されているか
- 指令書、暗号、のろし(通信)など“こだわって”計画しているか
- 想定を発表(伝達)方法にも“こだわり”があるか

※ 進歩制度をきっちり取り入れているか

- 進級はスカウトの一番の誇りと言っても過言ではない。榮譽であるよう工夫できているか。
例) ポケットから記章を出すのはダメ
- セレモニーと活動のメリハリが出来ているか。セレモニーでの「おきて」唱和など。
- スカウトの「ちかい」を認唱する機会に心がけているか。
- スカウトに「きまり」、「さだめ」、「おきて」の実践に向けた気づきに心がけているか。
例) ハイキングの目的は、体を強くし、教養を身に着け、道徳心を養う(「ちかい」と「おきて」の実践)こと
- スカウトの「モットー」、「スローガン」を日常生活に取り入れているか。
- スカウトの進歩を団の全員が知り、祝っていますか。
- 技能章審査員や候補者を知っていますか。

※ 国際教育はスカウト運動の優れた特徴です

- 部門毎の国際化の促進に向けたプログラムに配慮していますか
- 国際イベント参加に向けた“補助”に配慮していますか

【本気の募集を!!】

新規加盟スカウトを増やし楽しいスカウティングを提供しよう!!

自団にあった募集方法は何か

全指導者がスカウト増やす気持ちがあるか

我々は、広報活動が下手くそ

※ ボーイスカウトへの勧誘活動、定期的に何か実施できていますか

- 体験活動を行っている募集チラシを配布している
- 新聞折り込みを依頼している
- SNS で活動情報を発信している
- 口コミを保護者へ依頼している
- 指導者が直接声掛けしている

※ 募集戦略が明確になっていますか

- 団の戦略「どのエリア（学区）」「年齢層」「入隊を前提とした内容」が作れているか
- 入団後の費用負担額を指導者が説明できるか
- ボーイスカウトって何ですか？に指導者が簡潔明瞭に即答できるか
- いつ（どのタイミング）募集を行うと効果的か把握できているか
- 体験者が集まりやすい場所・時間で実施していますか
- 体験活動は団の所属地域の一般の人の目につく場所ですか

※ 体験活動内容が明確に伝えられていますか

- ネーミング策定時、子供（保護者含む）に興味をもって貰える言葉で策定出来ているか
- 活動内容がボーイスカウト教育にマッチしているか
(例) 野外を教場、青少年の教育団体、行うことによって学ぶ、小グループで活動、などなど

※ 保護者説明会を定期開催できているか

- ボーイスカウトに入団すると、こんな青年になると説明できているか
- ボーイスカウトの良いところを明確に説明できているか
例) 国際性、環境改善活動、スカウト教育法、個人プロジェクト、ボランティア指導者、一貫教育、などなど
- 団で出来ないならば、ボーイスカウト講習会に参加して貰うなど手を打つ

※ 普段の活動で地域協同ができているか

- ボーイスカウトを理解してもらえるメッセージを定期的に伝えているか
- ボーイスカウトから積極的に地域の課題に取り組んでいるか
- 体験プログラムの改善に向けてコミッショナーやトレーナーのアドバイスを受けているか

今からでも遅くない、今までと同じことを繰り返しても減少は止められない

※ 地区の施策は（地区役員全員が施策を練る）

※ 県連盟の施策は（理事全員が施策を練る）

- ワクワク自然体験遊びの拡充（スカウト委員会）
- 保育園プロジェクトを始動（県連盟コミッショナー）
- 加盟員拡大推進奨励制度の制定（理事会）（必要/不要も検討）

※ 募集の準備やツールは万全ですか --- 必要な支援はありませんか

何が欠けているか、何があれば募集し易い、真剣に考えてみませんか

意見を県連盟事務局まで欲しいです

※ 楽しいプログラム実施の準備は万全ですか --- 必要な支援はありませんか

何が欠けているか、どんな支援があれば活動し易い、真剣に考えてみませんか

意見を県連盟事務局まで欲しいです